

科目担当者氏名		科目担当者連絡先（メールアドレス）	
石井 大一郎			
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
石原 英樹		明治学院大学 社会学部 社会学科	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
社会調査実習	MJGa-140807-0	2人	

## I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：

学生一人ひとりが本実習テーマに合わせて、自らのサブテーマを導き出した。これにより実習への主体性が増すと共に夏休み中の、興味対象団体の訪問にもつながった。学生は、そうしたサブテーマの導出、対象団体の活動地域の人口分析、インタビュー対象者との調整、当日のインタビュー、文字起こしから、分析、まとめの一連の作業に取り組むことができた。履修者が大学院の聴講生1名を含め3名であったことで学生一人ひとりに向き合い丁寧に指導することにつながった。また、現場の事前訪問、利用者としての体験、活動参加など、時間に限りがあるが、対象団体との関係づくりを進め、そして現場視点で調査を行うことができたのが大きな収穫であった。

## II. 調査の企画・設計（デザイン）

## 1. 調査のテーマ／領域：

NPO・コミュニティビジネスの担い手～職場としての選択と生活

## 2. 調査の内容／概要：

大都市郊外では、人口減少や高齢化の進む地域における高齢者の自立支援や生きがいづくり、また、子どもの養育支援、そしてこれらのニーズに誰が応えていくのかといった担い手の問題が注目されている。こうしたなか、地域社会の中の担い手として注目されているのが、地域の住民自身が仲間となり、団体を立ち上げ、地域の課題を地域ぐるみで解決しようとするNPOやコミュニティビジネスである。本実習では、そうした担い手が、活動を始める、あるいは関わるようになったきっかけや思い、現在の活動状況を活動地域の人口構造等の把握とともにインタビュー調査を通して明らかにする。

## 3. 調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：

人口減少や高齢化の進む大都市郊外、特に高齢化に対しては、バス便を利用する交通不便地域において2に上述した諸課題に取り組むNPOやコミュニティビジネスを対象とした。また地域課題の大きなテーマである空き室・空き店舗活用に取り組むコミュニティレストランを対象とした。子どもを対象とした活動については、若い担い手の生活やキャリアに着目するため、そうした担い手が活躍するプレイパークを対象とした。

## 4. 主な調査項目：

政府統計等既存統計資料の整理、活動への参加や利用者体験、国勢調査データ等による人口分析、インタビュー調査（主な設問項目：活動を始めたきっかけ、職業観、現在の活動の仲間、活動内容、活動の課題と展望）

## III. データ収集の方法と結果

## 5. データ収集（現地調査）の方法：

インタビュー調査、活動への参加や利用者体験

## 6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：

11～12月 現地インタビュー調査  
 (1) 横浜市旭区「ハートフル・ロード」：2014年11月19日、3人（内1人は大学院聴講生）  
 (2) 横浜市港南区「高齢台生生き生きプレイパーク」：2014年12月10日、2人  
 (3) 東京都立川市「高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会」：2014年12月17日、2人

## 7. 収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収票及び回収率を必ず記入）：

今回は履修者2名に加え、大学院の聴講生が1名であり、調査体制としては十分とは言えなかったが、3団体7名のNPO・コミュニティビジネスのリーダー層から丁寧に話しを伺い、率直な意見を聞くことができた。対象団体によって異なるが、夏休みの事前訪問、利用者としての体験や活動への参加を通して、現場の視点でインタビューできたことが、率直な意見を聞くことにつながった。この点については高い評価をしている。

## IV. データ分析の方法と結果

## 8. データ分析／解釈の方法：

半構造化インタビューにより、対象者ごとに一人ひとりインタビューを行った。分析は、記録起こし後、コーディング テーマの抽出 カテゴリー化、そしてカテゴリー間の関係の整理を通して、分析枠組みを整理した。最終的には、3団体7人から得られた共通のテーマを調査から得られた知見としてまとめた。

## 9. 調査の成果（調査から得られた主な知見など）：

3団体ともその中心を担うメンバーは、当事者として社会に疑問を抱いていた。そして、その社会問題を解決できないかと考えた人々と、それに賛同、協力する地域住民によって、NPO法人やコミュニティビジネスは生まれる。3つの団体のインタビューから、以下3点の共通点を見出すことができた。

- ・現代社会に対する疑問や危機感から、行動をしている
- ・設立時の活動の中心メンバーは、幼稚園や保育園、小学校などの子どもつなぐりの仲間によって創出される
- ・地域住民が誰でも自由に来て、食事や遊びをする地域全体の環境づくりを意図している

## 10. 報告書刊行の予定と概要：

社会調査実習報告書Vol.31 2015年3月刊行